



CONTENTS 主な内容

ごみを出さない努力していますか？
にぎわいのある都市核づくり
大内文化まちづくりサポーター
による提言書がまとまる





将来の30万中核都市実現に向け、

新たな枠組みで段階合併を目指す

山口県央部合併協議については、4月26日に協議の休止が決定し、その後も協議再開の可能性を残していましたが、事務所の位置についての進展は見られず、協議の再開は事実上困難となりました。今後の合併協議に関して、山口市としては、2市4町30万中核都市実現は将来に向けた基本方針とし、現段階では新たな枠組みによる段階合併を目指して取り組んでいくこととしています。

事務所の位置に関して、新提案も協議再開には至らず

2市4町県央部合併協議は、山口市、防府市、小郡町の間で合併後の本庁舎の位置で合意に至らず、協議が休止となりました。この休止は、2市4町の枠組みの可能性を残すものであり、同時に新たな枠組みによる協議を妨げるものではないことは、前回までの市報でお知らせしました。

また、事務所の位置に関して、協議を再開するに至る何らかの進展があれば合併協議再開の可能性があることは確認されました。

こうした状況の中、4月30日に、阿知須町長から2市4町合併協議

再開に向け、事務所の位置に関する新提案が合志会長に提出されました。

その内容は「新市発足後の本庁舎は秋穂町、徳地町、阿知須町のいずれかとし、将来の事務所位置については、新市で速やかに検討すること」とするものです。これに対して合志会長は、副会長である防府市長・小郡町長とも協議し、各市町の意見を踏まえ、この案に対する合意は困難である旨を阿知須町長へ回答しました。

その後も協議再開に至る可能性は見い出せず、5月20日を予定していた次回合併協議の目的も立たないことから、合併特例法の期限

内（平成17年3月31日）の2市4町での合併実現は困難な状況となりました。

山口市として、新たな枠組みによる段階合併を目指す

山口県全体の発展をけん引する30万中核都市実現は、2市4町合併協議の中でも共通の認識であり、これまでの協議で約8割の協議事項が確認済みとなりました。

このように将来的な30万中核都市実現は高い可能性を持つものでありますが、一方で、合併にあたっては、合併特例法による支援措置も有効に活用して、効果的なまちづくりを行うことも必要となります。

こうした現状から、山口市としては、将来的に30万中核都市を建設するという方針のもと、第一段階の合併として、合併特例法の期限内で、新たな枠組みによる合併を目指していきます。

**合併住民説明会を開催
市民の皆さんのご意見をお聞かせください**

新たな枠組みでの合併協議を検討するにあたって、これまでの協議経過や市としての考え方について、市長が市民のみなさんに説明いたします。みなさんのさまざまなご意見を伺い、今後の協議に生かしていきたいと考えています。

左図の日程で説明会を開催しますので、多数のご参加をお待ちしております。

◇問い合わせ 市企画経営課中核都市推進室 ☎934-2747

■合併説明会の開催日程

日時	会場（駐車場）	対象地区
6月2日（水） 午後7時～	山口南総合センターホール （山口南総合センター駐車場）	陶、鑄銭司、名田島、 秋穂二島、嘉川、佐山
6月3日（木） 午後7時～	県スポーツ文化センター視聴覚室 （維新百年記念公園駐車場）	吉敷、平川、大歳
6月4日（金） 午後7時～	ば・る・るプラザ山口多目的ホール （ば・る・るプラザ山口駐車場）	大殿、白石、湯田、 宮野
6月5日（土） 午後7時～	大内小学校体育館 （県農業試験場駐車場）	仁保、小鯖、大内

※説明会の時間は1時間程度を予定しています。
※対象地区以外の会場にも参加できます。



みんなが安心して生活できる地域社会づくり

もの忘れホットライン開設

～痴呆初期の電話相談を始めます～

市では、痴呆性高齢者や家族が安心して生活できる地域社会づくりを目指して、山口市痴呆予防推進事業を実施しています。この事業の一環として、6月1日（火）から「もの忘れホットライン（痴呆予防電話相談）」を開設しました。 ※痴呆性高齢者：何らかの介護が必要な痴呆症状を伴う高齢の方のことです。

山口市の介護保険認定者の半数以上は、何らかの介護が必要な痴呆を伴っています（平成14年3月末現在）。また、痴呆症の発見が遅く、近隣に迷惑がかかるようになって初めて家族が相談するような状態や、物事を忘れていく自覚が本人にあり、不安を抱きながらも、相談に至らない場合があります。

そこで、保健、医療、福祉の専門職や地域諸団体の代表で構成された痴呆性高齢者早期支援体制推進会議において、痴呆の早期発見・早期対応についての協議が行われました。その中で、課題解決のために、本人のものの忘れの不安に対して身近に相談できる場の必要性が提示されました。これを受けて、市では、痴呆初期を中心とした気軽な相談窓口として、もの忘れホットライン（痴呆予防電話相談）を開設しました。

○ご相談をお受けする一人、有田保健師に質問しました。



☎922-2410
【専用回線】

（相談日時）
月～金曜日の午前8時30分～午後5時
（相談窓口）
市高齢障害課在宅支援担当
※通話料金は相談者の自己負担となります。
※最寄りの山口市在宅介護支援センターでもご相談をお受けしています。

Q どんなとき相談したらいいの？

A 「最近もの忘れがひどくなった」「家事や仕事の段取りができなくなった」「あれ？もしかして痴呆の始まり？」など不安に思われたらご相談ください。

Q どんな質問でもいいの？

A 「病院は何科を受診したらよいか？」「家族としてどのように対応したらよいか？」「予防するための日常生活の過ごし方は？」など、気になることをなんでも気軽にご相談ください。

Q 痴呆は予防できるの？

A 痴呆の中には、早く見つけて痴呆予防教室など適切な対応で進行を防止したり、症状を安定させることができるものがあります。

山口市痴呆予防推進事業には、その他にも次のような事業があります。

◆痴呆予防教室及び相談会

おおむね65歳以上の高齢者及びその家族等を対象に、地域型在宅介護支援センターが地域の身近な場所（公会堂や公民館など）で、痴呆や痴呆予防に関する知識普及を図る教室や相談会を開催します。

◆痴呆予防リハビリ教室

閉じこもりやもの忘れ等について、本人または家族に不安があり、痴呆症に進行する可能性が高いと考えられる方を対象に、痴呆予防を目的とした脳機能を活性化させる教室を開催し、また家族の関わり方等についてご相談をお受けします。

◆痴呆性高齢者介護実践集の作成

痴呆性高齢者家族の介護負担軽減、家族への情報提供・各関係機関職員の資質向上を目的に、実際に痴呆性高齢者の介護を行う家族や施設の介護従事者の介護実例について、症状別にまとめた実践集を作成します。

■問い合わせ 市高齢障害課

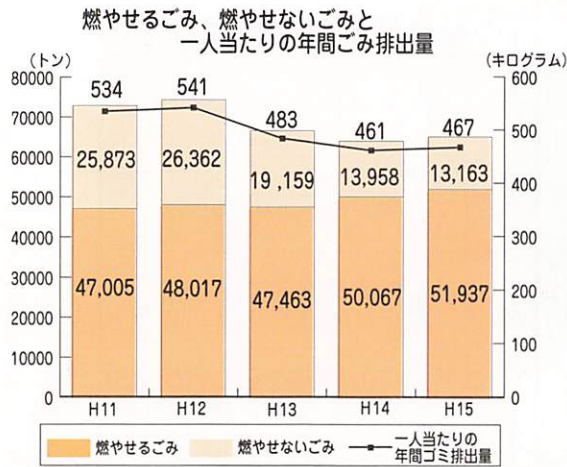
（☎934-2758）

ごみを出さない努力 していますか？

リサイクル率上昇。しかし、ごみは増えています！

山口市では、燃やせるごみ、燃やせないごみと12品目の資源物（缶・2分類、びん・3分類、新聞、雑誌、ダンボール、紙パック、紙製容器包装、ペットボトル、プラスチック製容器包装）の分別収集と乾電池・蛍光灯の拠点回収を行っています。年々、リサイクル率は上昇しているものの、燃やせるごみは、増加傾向にあり、平成15年度については、過去最高の値となりました。

この機会に、ごみの捨て方について考えてみましょう。



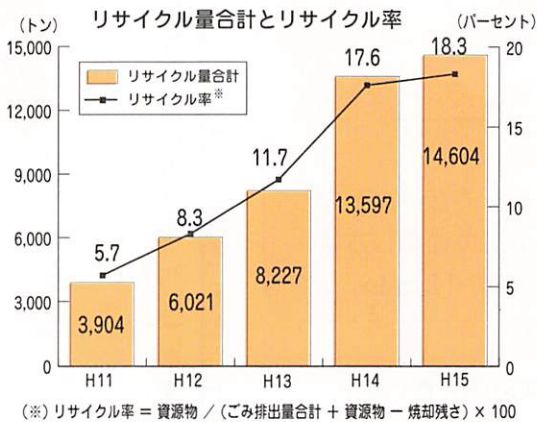
平成15年度に排出されたごみの量は、6万5100トン。平成14年度と比較して1075トン、1・68パーセント増加しました。種類別に見ると、燃やせるごみの排出量は5万1937トン。平成14年度と比較すると、1870トン、3・78パーセント増加して

燃やせるごみの排出量が増加

います。人口の増加によるものもありますが、一人ひとりが出すごみの量も増加しています。燃やせるごみの中に、容器包装など分別すれば資源になるものがないか、もう一度見直してみましょう。

一方、燃やせないごみの排出量は1万3163トン。平成14年度と比較して792トン、5.7パーセント減少しました。燃やせないごみは、排出される量も減少していますが、清掃工場から出る焼却灰を埋立処分からセメント原料の一部としてリサイクルを始めたことも減少の一因となっています。

リサイクル量、率ともに上昇

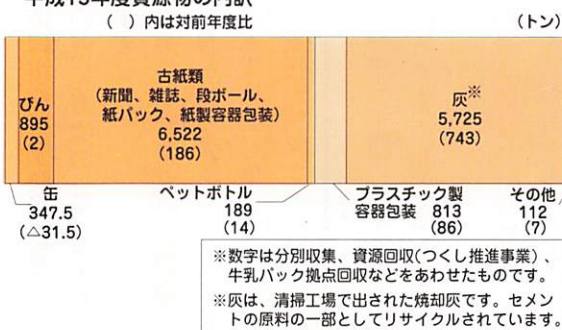


平成15年度にリサイクルされた資源物は1万4604トン（灰リ

サイクルの5725トンを含む）。リサイクル率は18・3パーセントです。平成8年度から順次分別収集を実施し、それ以降、年々リサイクル量、率ともに上昇しています。

また、品目別の排出量は左グラフの通りで、古紙類、ペットボトル、プラスチック製容器包装、びんのリサイクル量が増加しました。しかし、リサイクル率が上昇してもごみの量は増加しています。紙製容器包装のリサイクル量が減少していることから、まだ、資源がごみとして捨てられていることが考えられます。ごみとして排出する量を減少させるためにも、これら資源物の分別をより一層、進めていく必要があります。

平成15年度資源物の内訳



ごみ・資源物の出し方、再確認

年々、市民のみなさんの分別に対する意識が高まり、リサイクル率も上昇してきています。

しかし現状では、まだ100パーセント分別ができていないわけではありません。ごみ出しのルールが守られていないものや分別すれば資源になるものがごみの中に混じっている場合があります。

そこで、ごみステーションに出されたごみ・資源の中で、間違いの多いものをご紹介します。みなさんも再度確認してみましょう。

本当に「燃やせないごみ」ですか？

神田一般廃棄物最終処分場では、燃やせないごみとして捨てられたものを埋め立て処理しています。しかし、「燃やせないごみ」として出されたものの中に、缶やびん、ペットボトルなど、資源としてリサイクルできるものが、たくさん含まれています。



埋立処理される燃やせないごみ。中には缶詰やジュースの缶、びんなどが混入している。

処分場の残容量には限りがあります。処分場の寿命を延ばすためにも、しっかりとした分別が必要です。

※缶・びん（食品が入っていたもの）、ペットボトルは、キャップを外し、中を洗ってからの、それぞれの収集日（月1回）

に出しましょう。

パソコンはごみステーションに出せません

平成15年10月から、家庭で不要になったパソコンは、メーカーが回収・リサイクルすることとなりました。対象となるのは、パソコン本体、ディスプレイ、ノートパソコンです。

パソコンは、ごみステーションに出さず、下図の手順で処分してください。

【処分費用はかかるの？】

パソコンにPCリサイクルマークがついているものは、製品価格にリサイクル料金が含まれているため、処分時の費用は不要です。マークがついていないパソコンは、メーカーや機種によって金額が異なりますが、ノートパソコンでは1台につき3000円程度の費用が必要となります。



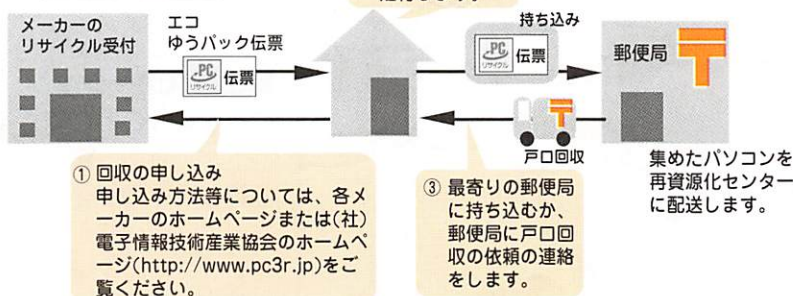
【何に生まれ変わるの？】

パソコンはさまざまな部品から構成されているため、分解し、部品や素材ごとに選別し、リサイクルされます。

例えば、鉄、アルミニウム、銅といった金属は、部品を分離し、それぞれの素材に選別され、金属

製品の原料として再生利用されます。また、ブラウン管ディスプレイのガラスは、再度ブラウン管のガラスとして利用できるほか、さまざまなガラス製品に再生利用されます。

パソコンのリサイクル手順



※パソコンと一緒に販売されたキーボード、マウス、ケーブルなどの付属品は、リサイクルの際にパソコンと一緒に梱包し、処分してください。プリンター、スキャナーなどの周辺機器やワンプロ専用機は対象外です。

ごみを出さない努力 していますか？

スプレー缶の間違った出し方は 火災の原因になります

スプレー缶の爆発によるごみ収集車の火災が、市内でも毎年約45件も発生しており、大変危険です。火災を未然に防ぐためにも、次の方法を守って出しましょう。

①キャップを取る（プラスチック製キャップはプラスチック製容器包装、金属製のキャップは、燃やせないごみへ分別）

②完全に使いきった後、火の気のない風通しの良い場所です穴を空ける（ガス抜き器は市環境保全課、各出張所で無料配布します）。

③他の燃やせないごみとは分け、スプレー缶のみを透明・半透明の袋に入れて、「燃やせないごみの日」に出しましょう。

剪定木はどうやって出すの？

これからの季節は、庭木の手入れなどで排出される剪定木のごみを出す機会が増えてきます。これらは、次の方法で出しましょう。

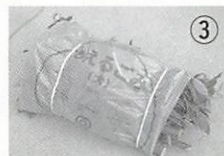
①指定袋に入るものは指定袋に入れて出しましょう。

②指定袋から少しはみ出す場合は、袋の上を②
ひもで縛って
出しましょう。



③例外として、袋が裂けるなど、指定袋に入れにくい場合のみ、「大」の指定袋を巻き、ひもで縛

って出すことができます。一本50センチメートル、直径は5センチメートル以下の庭木を束ねて（30センチメートル以内）その周りに「大」の指定袋を巻き付けます。



△こんな場合は収集できません。
袋が結びつけてあるもの
・「大」以外の指定袋が巻き付けてあるもの

・多量に出されたもの。3袋（束）程度まで収集します。多量に排出する場合は、直接、中部クリーンセンター（☎927-10020大内御堀496）へ。※処理手数料がかかります。
・業者によって出されたもの

△剪定木以外の全ての燃やせるごみは、指定袋に入っているものでないと収集しません。

大型の家具などを処分する場合も、直接、中部クリーンセンターへ持ち込んでください。

この他にも、分別方法に迷った時は、ごみ・資源収集カレンダーやごみ分別の手引きをご確認ください。

資源物を持ち込むことができます

■リサイクルプラザ

（大内御堀489-8 ☎927-7122）



◇持ち込むことができる資源物
缶、びん、ペットボトル、プラスチック製容器包装、新聞、雑誌、ダンボール、紙製容器包装、紙パック、乾電池、蛍光管
※資源物の他にも、人に譲れる本、家具、衣類（洗濯したもの）なども持ち込むことができます。

◇持ち込みのできる日時 火曜日～日曜日、祝日（月曜日、祝日の翌日、年末年始は休館）の午前9時～午後4時30分

※ただし、衣類の持ち込みは日曜日の午前9時～午後3時

◇持ち込みの方法 リサイクルプラザ内で受付を済ませ、トラックスケールで資源物の重さを量ってから出します。

■エコステーション（西門前商店街）

◇持ち込むことができる資源物 缶、びん、ペットボトル、新聞、雑誌

◇持ち込みのできる日時 毎日午前10時～午後6時

※いずれも、持ち込みの際の排出方法は、ごみステーションに出す場合と同じです。ルールを守って出しましょう。

ごみを出さない工夫

ごみが増えると、埋め立て処分場の不足、処理費用の増加など、さまざまな問題を引き起こします。ごみを出さないために左図「4つのR」を実践しましょう。

まず、「リデュース」。ごみになるものを買わない、過剰な包装は断る。次に、「リデュース」。ごみが出ない暮らしをする。そして、「リユース」。

Recycle
リサイクル
(リサイクルする)

実践しましょう
「4つのR」

Reuse
リユース
(再利用する)

Reduce
リデュース
(減量する)

「リユース」。
使い捨てず、
洗浄するなど
で、もう一度
使えるものは
できるだけ再

利用する。最後に、どうしても処分しなければならぬものは「リサイクル」。

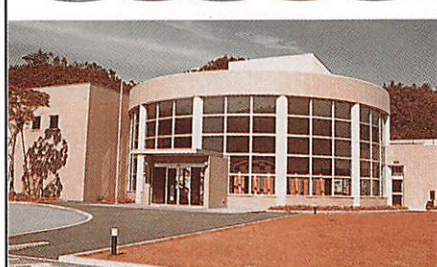
ごみを減らすには、一人ひとりの努力が必要です。買い物にはマイバックを持っていたり、詰替用の製品を使ったりと、自分のできることから、一つずつ始めてみましょう。

■問い合わせ

◇分別やリサイクルに関すること

市環境保全課（☎934-2777）

◇ごみの収集に関すること 市清掃事務所（☎927-1770）



山口市リサイクルプラザ
☎ 927-7122 ☎ 927-7133
http://www.c-able.ne.jp/~ymgplaza/
開館時間 午前9時～午後5時
資源物の受け付け
午前9時～午後4時30分
月曜と祝日の翌日はお休みです

暮らしの達人を紹介

リサイクル活動で広がる「輪」

平川にお住まいの西田サトノさんは、自宅の庭に作った「布遊びの部屋さとのハウス」という離れで、月に一度近所の方たちにリサイクル作品づくりを教えています。今回は、日々の暮らしの中に上手にリサイクル意識を取り入れ、楽しく趣味の輪を広げておられる「暮らしの達人」西田さんにお話を伺いました。



「リサイクルアイデア講座」を参考に、趣味の幅を広げる



窓際に飾られている、
テディベアのぬいぐるみ

くりは私の生きがいですよ」と言われる西田さん。当初は本などでアイデアを習得していただきました

が、最近では市リサイクルプラザの「リサイクルアイデア講座」を受講して、習ったことを自分なりにアレンジして作っているそうです。「さとのハウス」で広がっている、「近所との交流の輪」

ご自身の名前をつけたというこのハウスには、月1回近所の方たちが集まります。取材した日は6人の方が来られ、西田さんの指導で、それぞれが家から持ってきた牛乳パックを使って、座椅子や小物入れを作り

「取材に来られるのがうれしくて・・・」と笑顔で迎えてくれた西田さんは今年84歳。12畳の「さとのハウス」の中には、余り布や余り糸で作ったぬいぐるみ、思い出の和服で作ったパッチワーク、アートフラワーにカントリドールなど、さまざまな種類の作品が壁いっぱい飾られています。「暇さえあれば何か作っています。もちろん、材料はすべてリサイクルしたもの。作品づくりは私の生きがいですよ」と言われる西田さん。当初は本などでアイデアを習得していただきました

ました。また、作品づくりの合間に昼食を一緒にとるなど、さとのハウスは近所の方同士の良い場にもなっていました。参加している方は、「身近なものを使って作るのを楽しんでいます。この場の雰囲気も来やすく良いですね」と話します。



「先生この作り方は？」生徒さんの質問に答える西田さん(中央)

「リサイクル」と聞くと「分別の徹底」を連想しがちですが、趣味として生活に取り入れ、楽しんでおられる西田さんのお姿はとても参考になりました。包装紙やリボン、布など、捨てるのもつたいないと思うけれど使い道がなくて...という方、ぜひ一度「さとのハウス」を見学されてみてはいかがでしょう(連絡先は市リサイクルプラザへ)。

また、市リサイクルプラザの「リサイクルアイデア講座」でも、Tシャツを裂いて編んで作る水はけのよい足ふきマットなど、これからの季節に合った内容の講座が開講されます。公民館などに置いている市リサイクルプラザの広報紙「かわらばん」をご覧になり、ぜひご活用ください。(企画 やまぐちエコ倶楽部)

■6月のリサイクルアイデア講座(午前10時～正午) (いつでも参加できます。申し込みはいりません)

和服のリフォーム	1(火) 8(火)	余り布で作るコサージュ	10(木) 24(木)
モロで小物作り	1(火)	毛糸のリサイクル	11(金) 25(金)
さき織り	3(木) 10(木) 17(木) 24(木)	布あそび	12(土) 19(土)
ネクタイのリフォーム	3(木) 17(木)	編んで作る足ふきマット	12(土)
ドライフラワーで作るミニ飾り	3(木)	牛乳パック工作(ツインゲット)	26(土)
かんたんリフォーム(帽子)	4(金) 18(金) 25(金)	かんたん着付け(ゆかた)※2	26(土)
古布でぞうり作り※1	5(土) ※5月に受講された方のみ		
フラワーアレンジメント	5(土) 19(土)		
やさしいパッチワーク※2	5(土) 16(水)		
トールペインティング※1	9(水) 23(水)		

※持参するものなどの詳細は、市リサイクルプラザ、市役所、公民館にある「かわらばん」をご覧ください。

■6月のフリーマーケット

◇日時 6月13日(日) 午前9時～午後3時(雨天中止)
※おもちゃの病院もあります(受付は午前10時～11時30分)。
※7月のフリーマーケットは7月11日(日)です。出店の申し込みは、6月15日(火) 午前8時30分からリサイクルプラザで受け付けます(出店共益費300円)。

都市核づくり

市では、この度「集まる 賑わう 生み出す 都市核」を基本理念とする「にぎわいのある都市核づくり構想」を策定しました。本市におけるまちの求心力の源としての役割を担ってきた地域を都市核エリアとして定め、さらにその中を5つのゾーンに大別しました。5つのゾーンについて、それぞれの活性化に向けた個別構想を定めるとともに、各ゾーンの連携により、山口市全体としての発展をけん引する都市核エリアの魅力創出や活性化の方策を示しています。構想の目標年次は、中期的には平成22年、長期的には平成27年を目途とし、計画的に進めていきます。

■問い合わせ 市企画経営課 (☎934-2746)

都市核とは、その役割は？

都市核とは、行政、教育、文化などの多様な都市機能が集積し、市域を越えて広域的に質の高い都市サービスを提供する拠点を指します。「にぎわいのある都市核づくり構想」では、こうした機能の集積状況や既存の部門計画等を踏まえ、左図の通り都市核エリアを定めています。近年では都市の分散化が進み、郊外型の大型ショッピングモールの進出や人口の郊外移転等により、中心地域の空洞化が進んでいます。また、県内のみならず広域的な経済活動が活発化する中、各都市が独自に活性化策を競うなど、都市間競争はますます激化しています。

市の中心的役割を果たす都市核の活性化は、市全体の活性化の大きな原動力となります。また、合併に伴う市域の拡大も視野に入れ、本市の都市核の特徴や機能を踏まえた活性化を図るほか、広域的な視点に立ったまちづくりを進めていく必要があります。

こうしたことから、本構想では、市民、事業者等との協働を基本に、都市核のいっそうの魅力向上を図り、まちの求心力を高める方策を示しています。

5つのゾーンと中心地区

本市の都市核エリアを、それぞれの特徴や機能の違いをふまえて「大内文化ゾーン」「亀山周辺ゾーン」「中心商店街ゾーン」「情報・文化ゾーン」「湯田温泉ゾーン」の5つに大別し、各ゾーンの個性化を促進します。また、その中でも「亀山周辺ゾーン」と「中心商店街ゾーン」を「中心地区」と位置づけ、都市核エリアの中で最も象徴的な役割を担う地域として整備を進めます。

中心商店街と湯田温泉 2つの賑わい空間の創造

都市核の活性化をけん引する役割を担う中心商店街と湯田温泉について、そのにぎわいをよりいっそう高めるため、人が集まるしかけの整備を進めます。

各ゾーンの連携による厚みのある都市核づくり

各ゾーンの地域資源を生かした個性化を進めるとともに、各ゾーンが一体となって魅力ある都市核エリアを創出するため、有機的な機能の連携を深めます。

●大内文化ゾーン

- ・大内文化特定地域に点在する歴史的遺産の保存・活用
- ・歴史を学ぶ拠点施設の整備
- ・歴史の薫る街なみ景観づくり
- ・伝統産業の継承、集積
- ・街なか観光の振興 など



にぎわいのある

基本理念

『集まる 賑わう 生み出す 都市核』

基本理念に基づき、本市の魅力ある都市核の形成に向けて、5つの基本目標を掲げます。

- ①人々の暮らしを豊かにする文化のまち
- ②人々を惹きつける魅力と個性のまち
- ③新たな文化や消費が生まれる創造のまち
- ④多様な人々がふれあう賑わいのまち
- ⑤誰もが住みたくくなるような快適なまち

目標の実現にあたっては、以下の基本方針に基づき、各ゾーンごとに個別構想を掲げ、推進していきます。

基本方針

「山口らしさ」を表現する

一の坂川や亀山などの自然、大内文化に代表される歴史、湯田温泉など、他の都市にはない地域資源を「山口らしさ」として明確に表現し、さらなる魅力向上を図ります。

エリアの連携・機能の強化を促進する

エリア内の各ゾーンの個性に磨きをかけ、それぞれの持つ機能の有機的な連携を促進するとともに、教育・研究機能や農業生産機能など、本市のもつ多様な機能との連携も図りながら都市核機能の強化を進めます。

集積を促進するおしゃれで快適な都市空間を創出する

都市としての集積がさらなる集積を生み出すことに着目し、土地の高度利用や利便性の向上、優れた立地条件の整備に努め、集積を促すようなおしゃれで快適な都市空間の整備を推進します。

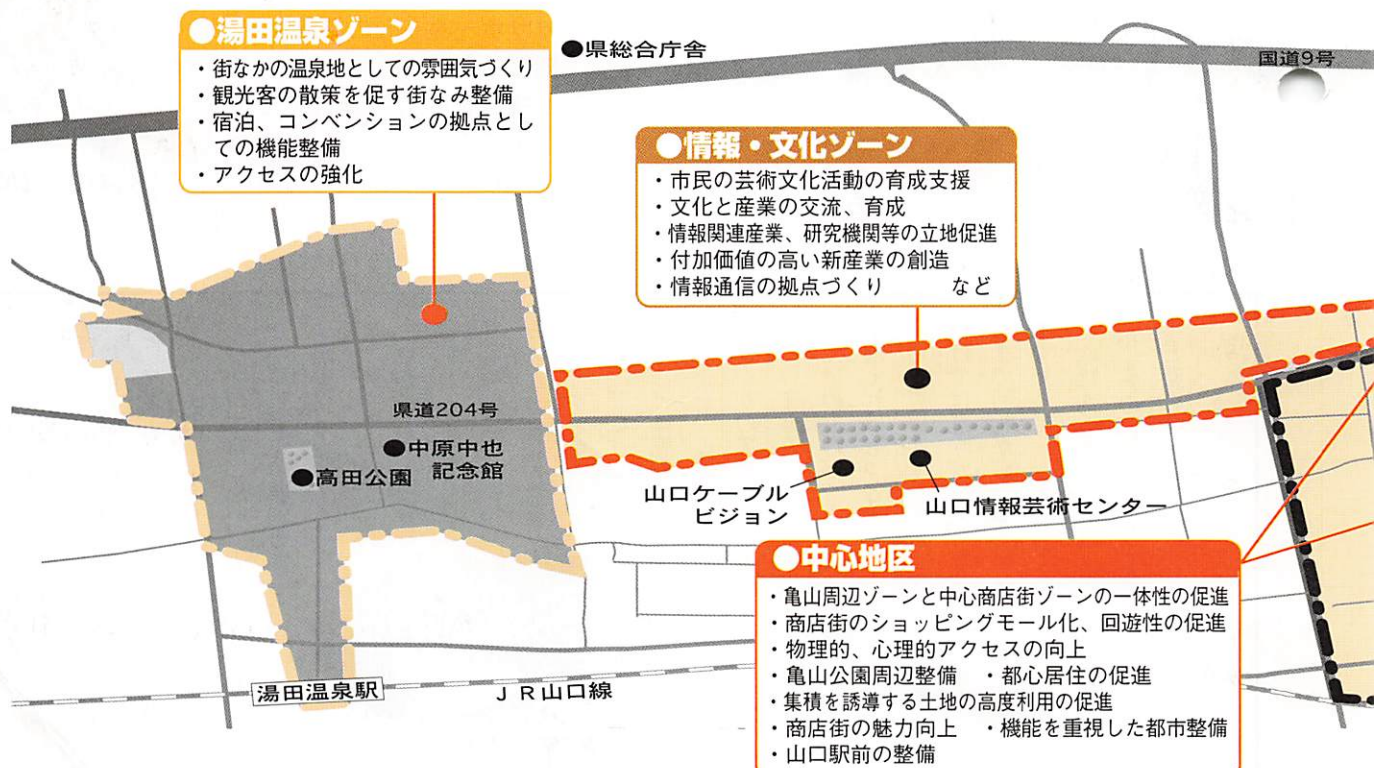
まちの「近づきやすさ」や回遊性を高める

都市核エリアは、人々が集い・巡る場所として、近づきやすさや回遊性が重要となるため、交通等の機能整備や、まち全体のユニバーサルデザイン化を進めるとともに、心理的にも「近づきやすさ」や「回遊しやすさ」を高めていきます。

まちづくりのコンセプトやルールを共有する

都市核エリアの整備にあたっては、各ゾーンの個性化や機能分担、相互連携の方向性を明確にし、市民、事業者、行政のみならず、訪れる側、受け入れる側などの間でまちづくりのコンセプトやルールを共有しながら進めていきます。また、積極的な市民協働のもとに、まちなか創造組織等の組織化を進め、*TMOやNPO組織との連携を図ります。

*TMO…中心市街地活性化を目的に、商業集積の一体的かつ計画的な整備を管理運営するまちづくり機関



大内文化まちづくりサポーターは、市が平成15年1月に策定した「大内文化まちづくり推進計画」で掲げる事業や市の将来像などを市民のみならず、さんに理解してもらい、まちづくりについてもっと興味を持ってもらうという目的で設置しました。

公募により集まったサポーターは、会社員、主婦などの6人で構成されています。サポーターは、平成15年9月～平成16年3月の間、大内氏の歴史や大殿地区住民のまちづくりの取り組みなどについての学習、大殿地区住民へのアンケート調査、先進地への視察などを行いながら大内文化まちづくりについて学びました。そしてその成果として、市民の目線で考えたまちづくりのアイデアを提言書という形でまとめました。

サポーターは、この提言書にあるまちづくりのアイデアを、今後の市民の自主的な活動の中で少しでも実現していけるようにと考えており、市でも、こうした市民の積極的な活動を支援し、市民と行政の協働による大内文化まちづくりの一層の促進を図ることとしています。

■サポーターが考える大内文化まちづくりの基本理念

サポーターは、まちづくりを進めるにあたっては常に原点に立ち返り、歴史の声に耳を傾け、未来の道筋を

大内文化まちづくり サポーターによる 提言書がまとまる

普段何気なく見ている風景。でも気がつけば、そこには昔から変わらず残る家並みや路地があるなど、私たちの生活の中には今もなお大内文化が息づいています。この歴史的遺産ともいえる大内文化を活かしたまちづくりを、市民の目線で考えてきた「大内文化まちづくりサポーター」の提言書が、このたびまとまりました。

■問い合わせ 市文化振興課 (☎934-2717)

※提言書の内容は、今後ホームページにも掲載する予定です。

<http://www.city.yamaguchi.yamaguchi.jp/>

探し当てることが重要であるとし、そして山口500年の歴史をいっそう輝かそうという意味を込めて「磨き上げられたまちが語る 日本文化の原点」を大内文化まちづくりの理念に掲げ、守りたいまち、創りたいまちを次のようにまとめました。

- (1) 丁寧に入入れられた美しいまち、静寂と雅を感じられるまち

隅々まで美意識の行きわたったまちを、目指す地道な努力が大切にされ、評価されるまち

- (2) ほっとするまち、ゆっくり歩

けるまち
訪れる人に心からくつろぎを感じてもらえるまち

- (3) あらゆる人が活躍できるまち
大人、子ども、強い人、弱い人、ハンディキャップのある人・ない人、どんな人でも社会で活躍の場が保証される、活力のあるまち

これらをもとに、「わがまちを誇ろう」「わがまちを磨き上げよう」を柱とする、次のような具体的な事業が提案されました。

サポーターを代表して

藤村成生さん

以前から大内文化に関心があったことに加え、人だけでなくいろいろなものやことと関係性をもつことが自らの生活を豊かにすると思い、大内文化まちづくりサポーターに参加しました。

実際にサポーターとして活動して、それぞれが仕事を持ちながら週一回の会合をこなすことはとても大変でしたが、みんなで真剣に取り組んでやる気を保ち、このたびこうして提言書をまとめ上げられたことは感慨深いです。

しかし、今回の提言書で大内文化まちづくりのアイデアが出尽くしたとは思っていません。わずか6人が集まってこれだけのものができたのだから、参加者が増えればもっとたくさんアイデアが出ると思います。また、アイデアを出すだけでは意味が無く、実現化させるところまで活動が広がっていくといいと思います。

次はあなたの番です。合い言葉は「今すぐ実行亭、それが最高亭！(十朋亭と葉香亭にひっかけてみました)」



提言書作成のための作業風景 (全24回開催)

※大内文化まちづくり…大内文化は山口にしかない素晴らしいまちの個性です。そのことを市民に広めることにより、市民が山口に対する愛着を深め、誇りに思えるようなまちにすること、また、歴史的遺産や風土・自然などを活用して山口市をもっと元気にしようということが、「大内文化まちづくり」です。



山口おもてなし隊
あっぱれちゃん

サポーターが提案するまちづくり（一部抜粋）

わがまちを誇ろう！

①大内文化を話そう、聞こう、見よう、使おう、身につけよう

◇大内塗をもっと使ってもらおうやあ。

- ・市内の旅館やレストランを対象に、高価な大内塗商品を低価格で貸し出すサービスを行う。
- ・市内の飲食店で大内塗を使用する店の入口に「大内塗使用の店」というステッカーを貼り、利用を促す。

◇学校でも知ってもらおういね。

- ・県内の小中高校生を対象に、歴史に関する夏休みの自由研究を表彰・展示する「ヒストリー山口」を開催。

②みんなで大内文化を見つけよう・深めよう

「室町時代のことなら山口に来れば何でもわかる」室町時代研究都市として、全国に宣言しようやあ。

- ・全国から室町時代に関する研究者や室町時代愛好家を募り「いまだ知られざる室町時代を研究する会」を発足させる。
- ・大内文化に関する情報・資料をデータベース化してインターネット上に公開し、誰もが気軽に利用でき、かつ新たな情報を追加することもできる「ウェブ大内文庫」を開設する。



山口おもてなし隊
こいでくん

わがまちを磨き上げよう！

①「室町時代祭」の開催

山口の黄金時代の幕を開けた人々の暮らしを体感する「室町時代祭」においでませ〜。

- ・大内氏館跡（龍福寺）で、観月会・茶会を開催。
- ・豎小路のあちこちに百韻連歌※を張り、順番通り並べるクイズ「ミステリー百韻連歌の道」を開催。
- ・日本独特の絵巻様式「絵巻物」を用いて、大内氏の物語を作る「大内絵巻を作ろう」を開催。
- ・古代、中世、維新と、日本の食事の移り変わりを一膳の中に盛り込んだ「歴史御膳」を販売。
- ・野田神社能楽堂にて、「能・狂言鑑賞会」の開催。
- ・大内氏が積極的に対外貿易を行っていた当時の国際貿易の中心地、マラッカのマーケットを再現。

②「お菓子の祭典」の開催

禪宗とともに渡来した外郎、サビエルが献上した南蛮菓子、日本初のクリスマスの聖餐など、お菓子の先進地でもあった山口。そのお菓子を市民の財産・文化として受け継ぐ祭りをしよういね。

- ・市内各店が、一の坂川の四季や山口ゆかりの人物などをテーマとした菓子や、「わが店・わがまちの逸品」などを創作・発表する。



※百韻連歌…中世の連歌の基本的な形式で、百句を詠み継ぐ形式。

山口おもてなし隊
おいでちゃん

市が主催する9つの事業

事業名	開催場所 (予定)	開催日 (予定)	事業内容
シンポジウム 「雪舟と文化維新」	県教育会館	11月5日(日)	雪舟が新しい画風を確立したことになみ、雪舟の試みと新たな文化を創造する「文化維新」について考えます。
演劇祭(現代劇)	山口情報芸術センターほか	11月4日(土)～5日(日)	全国の演劇団体が上演を行い交流を深めます。
全国吟詠剣詩舞道祭	市民会館	11月5日(日)	全国の吟詠剣詩舞の愛好者が集い、交流を深めます。
文芸祭(詩)	維新公園 野外音楽堂	11月5日(日)	全国から詩を募集し、詩に親しむコーナーを設けます。
美術展 (日本画・洋画)	大内文化特定 地域ほか	11月3日(金)～12日(日)	全国から日本画、洋画を募集して展示を行います。
日本舞踊祭	山口市民会館	11月12日(日)	全国の日本舞踊の団体が集い交流を深めるとともに、ワークショップ等を開催します。
街なか生活文化祭	大内文化特定 地域	11月3日(金)～12日(日)	生活空間である街並みを利用して、展示や生活文化の体験などを行います。
ファッションショー	山口情報芸術センター	11月10日(金)～12日(日)	特に若い人の斬新なデザインを紹介し、服飾デザインの未来について考えます。
メディア芸術祭	山口情報芸術センターほか	11月3日(金)～12日(日)	さまざまな映像作品をはじめとするメディア芸術作品を取り上げ、制作体験も試みます。

問い合わせ 市国民文化祭準備室（市文化振興課内 ☎934-2892）



平成18年の11月3日から12日の10日間にわたって、第21回国民文化祭が山口県を会場に開催されます。市では、4月の機構改編で市文化振興課内に国民文化祭準備室を設置し、6月2日(水)に国民文化祭山口市実行委員会を立ち上げます。

期間中は、パークロード一帯を中心にオープニングパレードが開催されるほか、市内各所で9つの事業が開催される予定です。

なお、第21回国民文化祭についての詳細は、県文化振興課ホームページ

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/gyousei/bunka-s/index.htm> をご覧ください。

※今年の国民文化祭は福岡県、来年は福井県で開催の予定です。福岡県の実行委員会では、出品作品の募集をしているところもあります。詳しくは「国民文化祭ふくおか2004」のホームページ<http://www.kokubunsai.pref.fukuoka.jp/top.php3> をご覧ください。

健康なまちづくりを目指す 「山口市健康づくり計画」

市では、今年度中の「山口市健康づくり計画」策定を目指して、現在策定委員会による会議を進めています。

この計画は、平成12年に策定された「山口市保健計画」の見直しを含め、身近な「食」を焦点として、市民のみなさんと健康を一緒に考え、



▲市保健センターで行われた第1回策定委員会の様子

環境美化協力員の活動にご協力をお願いします

市では、今年4月に施行した「山口市の生活環境の保全に関する条例」に基づき、山口市環境美化協力員として32名を委嘱しました。

協力員の主な活動としては、ごみのポイ捨て禁止、ペットの飼い主のマナー向上（飼い犬のふんの後かたづけなど）の啓発活動や、不法投棄の監視パトロールを行うこととしています。パトロール中は、犬のふん持ち帰りグッズや携帯用灰皿、啓発用のチラシを配布

市独自の健康づくり計画にしようというものです。

個人の健康は一人の努力では限界があることから、計画策定にあたっては、健康に関するさまざまな情報提供のしくみや、各地域・社会全体の支援体制といった環境整備など、策定委員のみなさんと話し合っています。また、同様のテーマで開催中の「市民まちづくり会議」によって今後まとめられる提言も計画づくりに反映していく予定で市民のみなさんと一緒に健康なまちづくりを目指します。

◇問い合わせ 市健康増進課（☎921-2666）

するなど、環境美化に向けたマナー向上を呼びかけていきます。

協力員が6月からパトロールを開始しますので、環境美化に向けた取り組みにご協力をお願いします。

◇問い合わせ 環境保全課（☎934-2776）



▲チラシを配付するなど、環境美化協力員が、市民のみなさんに呼びかけを行っています。

市民向け防災情報の提供を開始します

大雨による河川の増水や地震など、災害はいつ襲ってくるかわかりません。

それぞれの家庭や地域ぐるみの防災活動を通して、災害が起きた場合に被害を最小限にいとめるよう、日頃の備えなど十分に予防対策をしましょう。

市では、6月1日（火）からケーブルテレビ自主放送チャンネル（12チャンネル）を使用した防災情報の提供を行います。気象警報

が発令されると画面上に左図のような情報が表示されます。ぜひご利用ください。

◇提供する情報
気象情報、台風情報、地震情報、アメダス（雨量）

緊急情報（避難勧告・指示など）

◇問い合わせ
市総務課危機管理担当（☎934-2723）

※ケーブルテレビを利用したサービスになりますので、ケーブルテレビ未加入世帯はご覧いただけません。

画面サンプル



【画面説明】

- ① 現在発表されている気象警報を表示します。
- ② 台風情報、気象衛星画像を表示します。
- ③ 市が発表する避難勧告、避難指示等の内容を表示します。
- ④ アメダスデータなどの気象データを表示します。

『日頃の備え』と『早めの避難』が合い言葉！

土砂災害防止月間
6月1日～30日



梅雨を迎え、長雨や集中豪雨による災害が起こりやすい季節となりました。

昨年は、市内においても数件の土砂災害が発生しました。

雨が降り続くと予想される場合は、気象情報等に注意し、非常時に備え、適切な準備をしておくことが大切です。

また、次のような現象を察知した場合は、土砂災害が起こる可能性がありますので、直ちに近隣の方々と安全な場所へ避難するとともに、関係機関に通報してください。

◇土砂災害の前触れ

- ・雨が降り続けているのに、川の水位が下がる
- ・山鳴りがする
- ・がけから小石がパラパラ落ちてくる
- ・沢や井戸の水が濁る
- ・斜面から水が噴き出す
- ・川が濁り、流木が混ざる
- ・地面にひび割れができる

◇こんな前触れを見たら

早めに避難、そして、下記に連絡してください。

市土木課 (☎934-2837)

夜間・休日は、☎922-4111まで。



所得証明書の代理申請

Q 同居している父の所得証明書を取りたいのですが、どのような手続きをしたらいいでしょうか？

A 住民票上、同一世帯の親族の方が申請される場合は、運転免許証など、窓口に来られる方の本人確認ができるものを持参されれば、市課税課または最寄りの出張所で証明書の交付を受けることができます。

なお、同居であっても世帯を分けられている場合は、本人確

認ができるもののほかに依頼者からの委任状が必要です。

Q 以前は下関市に住んでいましたが、今年の5月に山口市に転入してきました。15年中の収入がわかる証明書はどちらの市で取ることができるのでしょうか？

A 下関市です。15年中の収入がわかる証明書(平成16年度所得課税証明書)は、平成16年の1月1日現在、住民登録をしておられた市町村で発行されますので、下関市で交付を受けることとなります。

※平成16年度所得課税証明書は、6月4日(金)から発行します。

◇問い合わせ 市課税課(☎934-2734)



はり・きゅうの利用助成

Q 国民健康保険に加入している場合、はり・きゅうの施術を受けるときの費用が助成されると聞いたのですが。

A 山口市の国民健康保険に加入されている方には、申請により、山口市指定のはり・きゅう施設所で利用できる「はり・きゅう施術施設利用者証」を交付しています。施術を受けられる際に、国民健康保険証を提示し、利用者証に添付されている施術費助

成券を施術担当者に渡すと、次の金額が助成されます。なお、助成対象は、はり・きゅうのみで、あんまの助成はありません。

【助成額(一回につき)】

はり・きゅうのうち、どちらか1つの施術を受ける場合：800円、はり・きゅう併用で施術を受ける場合：900円

【利用できる回数】

1日1回、1カ月10回まで

【申請方法】

国民健康保険証を持参の上、市保険年金課または各出張所で手続きをしてください。

◇問い合わせ 市保険年金課給付担当(☎934-2803)



地域通貨編 「ど〜も」

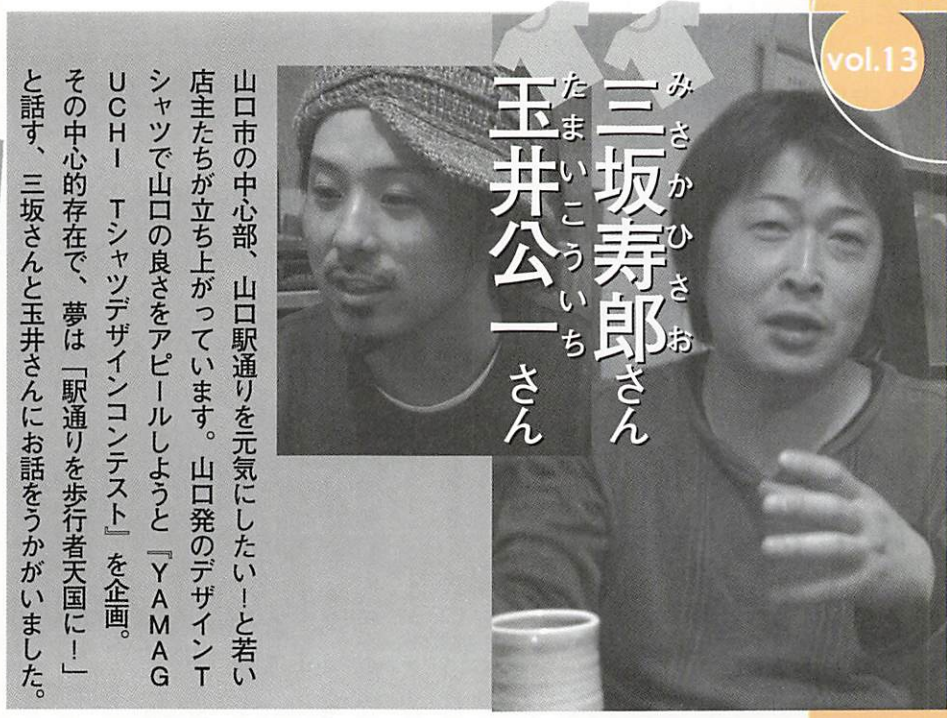
地域通貨「ど〜も」は、学生が中心となって運営し、社会人と学生の接点の場にもなっています。通帳型の地域通貨で、会員同士ができること、してほしいことのサービスを提供しあうというもので「心の交流を一番大切にしています」と濱田実行委員長。

スタッフには社会人もいて、学生が勉強している専門分野と、社会人の豊富な経験を生かしたイベントや運営を行っています。

「ど〜もがどうもんで動き出す☆」興味のある方はぜひご参加ください。

●問い合わせ先
地域通貨「ど〜も」実行委員会
道場門前1-1-18 どうもんビル4階
起業シテイLet's内
open 10:00~16:30 (毎週水曜日・第3木曜日は定休 臨時休業あり)
Mail:doummo2003@yahoo.co.jp
Tel:090-7577-2581 (濱田)
スタッフ・会員を募集しています！
詳しくは「ど〜も」実行委員会まで。

「円やドル」のようなお金とは違い、限られた地域内で流通し、地域の活性化や住民同士のつながりの再構築のために使われます。つまり、物だけでなく助け合いの気持ちや、ありがとうの気持ちとも交換できる通貨なのです。市内でもいくつかの種類が使われています。



三坂寿郎さん 玉井公一さん

三坂さん：みんなが大切にしたいと思うまち
玉井さん：一人ひとりが主役のまち

山口市の中心部、山口駅通りを元気にしたい！と若い店主たちが立ち上がっています。山口発のデザインTシャツで山口の良さをアピールしようと『YAMAGUCHI Tシャツデザインコンテスト』を企画。その中心的存在で、夢は「駅通りを歩行者天国に！」と話す、三坂さんと玉井さんにお話をうかがいました。

三坂 山口市中心商店街は、人が集まることで店が増え活気が生まれて大きくなった。いわば人々が創りあげたまちだと思えます。私たちのような若い店主も、大家さんやまちなみなさんが協力的なおかげでがんばっていただけるんだと感じます。

玉井 自分たちの店のオリジナルTシャツを作ろうという企画から、どうせならたくさんの人を巻き込んでおもしろくしたい、と思ったんです。デザインを一般公募すること、絵やデザインに興味のある若い人の作品発表の場にもなるし、自分たちの勉強にもなります。デザインそのものを集めたい、というよりは、人財をみつけたらいいです。今は目先の損得よりも楽しさ、それが長く続けるコツだと思うし、10年後のまちの発展につながるかと信じています。

最近、若い店主さんたちが頑張っている感じがしますね。

三坂 山口市中心商店街は、人が集まることで店が増え活気が生まれて大きくなった。いわば人々が創りあげたまちだと思えます。私たちのような若い店主も、大家さんやまちなみなさんが協力的なおかげでがんばっていただけるんだと感じます。

最後に、Tシャツコンテストへの意気込みをお願いします。



私たちも企画・運営メンバーです！一緒に楽しみましょう！
なかた じゅん 淳さん



まさだ かずみ 益田和己さん

6月1日
やこねっと
Web携帯版が
リニューアル！

PC版でおなじみのイベントカレンダーが携帯版にも登場！山口のイベント情報がすばやくチェックできます。ぜひ、活用してね！携帯版はこちら!!
[http://www.ycnet.jp/!](http://www.ycnet.jp/)



『YAMAGUCHI Tシャツデザインコンテスト』投票日
6月6日(日)午前8時頃から亀山公園ふれあい広場にて山口フリーマーケット骨董市にて、応募作品が展示されます。投票結果などから選ばれた4点は、三坂さんら4人の店で商品化され販売されます。ぜひ、お出かけください！

街角写真館

家族やお友達と出かけた楽しい場所。印象的な観光地など、自慢の写真をやこねっとまでお送りください。やこねっととWebや市報紙面上でご紹介します。



山口のみんなが元気になる情報を
お寄せください!!
お問合せ・情報は
お気軽にこちらまで!

企画・編集 やこねっと
やこねっととは、やまぐち生活がぶちよくなる情報を発信します!

yacopy@ycnet.jp
090-7120-0847
083-901-1165

〒753-0047 道場門前一丁目2-19
山口市民活動支援センター
さぼらんで内

子育て支援交流広場がオープン

5月11日(火)に、市児童文化センター2階に「子育て支援交流広場」(愛称 ちゃ☆ちゃ☆ちゃ)がオープンしました。これは、昨年7月に中心商店街にオープンした「ほっとさろん西門前ととと」が大変好評だったことから、同様の交流型の子育て支援の場として設置したものです。どうぞお気軽にご利用ください。

■子育て支援交流広場とは？

この施設は、旧児童図書館部分を利用して整備したものです。ここでは、親と子どもが絵本やおもちゃを通して遊んだり、子育て中の親同士が交流したり、常駐の保育士などに子育ての悩みを相談したり、子育てに関する情報を得ることが出来ます。

また、子育て中の親の不安感・負担感を緩和するための育児相談や子育て支援に関する講座なども開催されます。

施設内には、ベビーベッドや授乳室もあり、乳児を連れの方も安心して利用できる造りとなっています(下写真)。

さらに、乳幼児用・小学生用の本、漫画、子育てに関する本など、旧児童図書館の機能を活用



した多彩な書籍がそろっており、本を通じた小学生と乳幼児の交流の場としても機能していきます。

■職員体制

スタッフは、保育士2人、児童文化センター職員3人が勤務しています。

■スタッフからの一言

「子どもの笑顔、笑い声がいっぱい
の広場です。子どもたちを真ん中に、みなさんで交流しませんか？
お気軽にお越し下さい。」



長廣 富士恵



寺田 明美



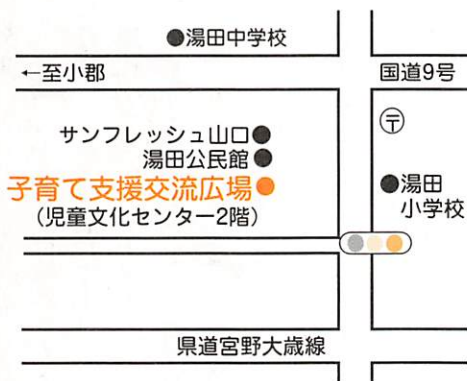
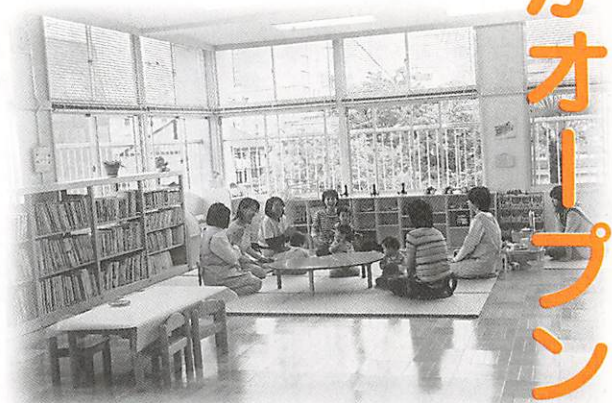
山根 道子



宮内 香苗



飯田 三恵子



■開館日等

- ◇開館日 毎週火曜日～土曜日
- ◇開館時間 午前10時～午後4時
- ◇休館日 月・日曜日、祝日、年末年始

愛称決定！

「ちゃ☆ちゃ☆ちゃ」

愛称について、たくさんのご応募をいただきありがとうございました。審査の結果、愛称は枝重さんの「ちゃ☆ちゃ☆ちゃ」に決定しました。

- ◆最優秀賞 枝重 美紀さん(大歳)
- ◆優秀賞 藤井 真澄さん(宮野)
秋重喜美代さん(白石)

第1回

「子育て支援講座」

- ◇日時 6月23日(水) 午前10時～11時
- ◇場所 子育て支援交流広場
- ◇テーマ 「親と子のふれあい遊び」
- 子どもの月齢に応じたふれあい遊びの意味を、わかりやすく実践を通してお話します。
- ◇講師 山口市大内保育園園長 磯部恵子
- ◇対象者 子育て中の方または子育ての支援をしたい方
- ◇定員 20人
- ◇申し込み・問い合わせ 6月10日(木)までに電話またはFAXで、左記へ

子育て支援交流広場(湯田温泉五丁目2-13 市児童文化センター12階) FAX 922-4325

山口ふれあい館休館のお知らせ

「宮野ホテルまつり」開催のため、6月5日（土）と6月6日（日：雨天の場合の予備日）の両日休館します。

◇問い合わせ 山口ふれあい館（宮野上1222 ☎923-3351）



お知らせ

山口市役所 〒753-8650 龜山町2-1

建築物等の実態調査を行います

最近の建築物及び住宅の建築状況等を調査します。調査内容については、国や都道府県の住宅・建築行政等の基礎資料を得る目的以外での使用はしません。調査員がお伺いしますので、ご協力ください。

◇期間 6月10日（木）～30日（水）

◇調査地区 大字吉敷字佐畑の一部、大字朝田朝田県営住宅

◇問い合わせ 市開発指導課 ☎934-2847

思春期の子を持つ親のための子育て講座

思春期の子どもたちの心や体の変化について知り、どう向き合えばいいのかを学んでみませんか。

【第1回】6月24日（木）

◇会場 平川中学校

◇演題／講師 「子どもの心見えてますか」／國弘洋子氏（山口大学附属教育実践総合センター相談員）

【第2回】6月29日（火）

◇会場 名田島公民館

◇演題／講師 「思春期の子どもに対する親の接し方」／内田志津子氏（学校教育心理士）

■いずれも

- ◇時間 午後2時～4時
- ◇定員 30名（先着順）
- ◇受講料 無料
- ◇申し込み・問い合わせ 第1回は6月21日（月）、第2回は6月24日（木）までに、電話またはFAXで市生涯学習課 ☎934-2866 FAX934-2661
- ※10月3日（日）と6日（水）にも2回開催予定です。

ハートケア（巡回ふれあい）教育相談

臨床心理士や教育相談の専門家が、不登校、いじめ、進路など、子どもをめぐるさまざまな悩みや問題についての相談に応じます。相談は無料で、秘密は守られます。

◇日時 6月25日（金）午前10時～午後5時

◇場所 白石公民館

◇申し込み・問い合わせ 6月18日（金）までに、電話で市教育相談室 ☎922-3749

広報広聴モニター募集

「市報やまぐち」や広報番組など、市の広報広聴業務全般についてのご意見・ご要望や、地域の身近な話題などを提供していただける方を募集します。

◇対象 20歳以上の市内在住者20人程度（応募者多数時は選考）

◇任期 8月～平成17年1月

◇謝礼 年6000円以内

◇応募先・問い合わせ 7月2日（金）までに、ハガキ、FAX、Eメールのいずれかで、〒住所、氏名（ふりがな）、年齢、性別、電話番号、ケーブルテレビの有無、「市報やまぐち」への短い感想を明記の上、市広報広聴課 ☎934-2753 FAX934-2643 ☒市報表紙参照

アグリ夢サポーター研修事業計画募集

先駆的な農業者・組織等の発掘のため、次に掲げる研修会開催等の計画案を募集します。審査委員会で選定された組織には、その研修に要した費用の一部を支援します。まずはお問い合わせください。

◇補助限度額 1組織10万円

◇募集対象組織 市内にある農業生産法人、集落営農組織等

◇募集対象計画 栽培技術等の農業生産技術、経理等の経営管理、商品・販路開発等の販売促進等に関する研修会の計画

◇応募先・問い合わせ 6月21日（月）までに、市農業振興課（市役所2階 ☎934-2816）

山口のんた情報（山口ケーブルテレビ）

午前7時45分（水・土）、午後零時15分（火・金）、午後6時15分（月・木・日）、午後10時（水・土）から20分間放送。

○1日～15日「YCAM探検ツアーに出発！」

○16日～30日「IT機器を使いこなそう」

やまぐちしま専科（山口朝日放送）

毎週水曜日、午後1時55分から4分間放送。

○2日「防災対策してみま専科」

○9日「ふるさとの自然考えてみま専科」



6月の放送予定です

- 16日「健康シリーズ～禁煙～」
- 23日「親子で野山探検に行こう！」
- 30日「栗林和彦の大内文化探訪」

わたしたちのまち山口（テレビ山口）

毎週日曜日、午前11時40分から4分間放送。

○6日・13日・20日 「広がっています 国際交流の輪」

○27日 「ご利用ください 子育て支援交流広場」

文化財講演会「周防国分寺金堂修復工事について」

- ◇日時 6月12日(土) 午後2時~3時30分
- ◇場所 大蔵公民館
- ◇講師 近藤展由氏((財)文化財建造物保存技術協会)
- ◇問い合わせ 山口の文化財を守る会(市文化財保護課内☎920-4111) ※参加無料、申込不要

平成16年度山口市職員採用試験

- ◇受付期間 6月1日(火)~6月25日(金:消印有効)
- ◇受験申込書の請求 受験申込書は、市職員課(市役所2階)、市役所受付、各出張所、市水道局にあります。郵送での請求は、封筒の表に「受験申込書請求」と朱書きし、あて先明記の返信用封筒(角形2号<A4版>)に120円切手を貼って同封してください。
- ◇申し込み・問い合わせ 市職員課人事研修担当(☎934-2727)
- 【第1次試験】
- ◇期日 7月25日(日)
※行政職は7月25日(日)・26日(月)の2日間実施
- ◇会場 山口県立大学(桜島三丁目2-1)

試験区分	試験職種	採用予定人員	受験資格
大学卒業程度	行政	5人程度	昭和50年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法に規定する大学(短期大学を除く)を卒業した人もしくは平成17年3月末日までに卒業見込みの人、または高等専門学校専攻科を修了し学位の授与を受けた人もしくは平成17年3月末日までに授与を受ける見込みの人
	土木	1人程度	昭和48年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法に規定する大学(短期大学を除く)を卒業した人もしくは平成17年3月末日までに卒業見込みの人、または高等専門学校専攻科を修了し学位の授与を受けた人もしくは平成17年3月末日までに授与を受ける見込みの人
	建築	1人程度	昭和48年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法に規定する大学(短期大学を除く)を卒業した人もしくは平成17年3月末日までに卒業見込みの人、または高等専門学校専攻科を修了し学位の授与を受けた人もしくは平成17年3月末日までに授与を受ける見込みの人
専門職	保健師	1人程度	昭和50年4月2日以降に生まれた人で、保健師免許を有する人または平成17年3月末日までに取得見込みの人

【ボランティアスタッフも同時募集】

- ◇対象 55歳以上のインターネット未経験者(初心者)各10人
- ◇参加費 無料
- ◇場所・問い合わせ 山口情報芸術センター(中園町7-7 ☎901-2222)
- ◇日時 6月7日(月)、14日(月)、21日(月)、28日(月)の各午後3時~6時

シニア向け インターネット教室

インターネットには興味はあるけれど使ったことがないという初心者向けの教室です。申し込みは不要で、時間内でしたら出入り可能です。

第50回 山口県乾椎茸品評会

- ◇日時 6月15日(火) 午後1時30分~4時
- ◇会場 ぱ・る・るプラザ山口(物太夫町1-15)
- ◇内容 乾椎茸出品物の展示・褒賞など
- ◇問い合わせ 県椎茸農業協同組合(☎928-0336)

☎ senior@ycam.jp

55歳以上で、ある程度パソコン経験のある方でお手伝いいただけるボランティアスタッフを募集しています。詳しくはお問い合わせください。



〒753-0075 中園町7-7 ☎901-2222 FAX 901-2216

山口情報芸術センター

市民委員会自主企画 meet the artistsシリーズ「佐藤時啓プロジェクト(仮)」

市民とアーティストが長期的に関わっていく参加型事業「meet the artists」シリーズ。本年度は、東京芸術大学先端芸術表現科助教授で、美術家・写真家として、幅広い活動を行っている佐藤時啓氏のワークショップや展覧会を、ボランティアや市民委員とともに運営します。写真という視線の不思議に触れたい方、アーティストとともに事業を成功させていくことに興味のある方などで、市民委員と一緒に運営をしてくださるボランティアスタッフを募集します。

ボランティア募集

- ◇活動内容 ワークショップや展覧会の準備、交渉、実施、記録、記録の編集など一連の作業を実践しながら体験します。
- ◇応募資格 高校生以上の原則的に山口情報芸術センターに来館できる方。この企画に興味のある方。(経験不問)
- ◇応募 6月25日(金)までにハガキ、FAX、Eメールのいずれかで、〒住所、氏名(ふりがな)、性別、生年月日、電話番号等連絡先、ボランティア活動などの簡単な履歴、志望動機(200字程度)を明記の上、「ボランティア」係 ☎ volunteer@ycam.jp

※応募締切後も継続的に募集します。

※電話による応募は不可。

レクチャー

佐藤氏が、これまでの活動の様子を中心に、カメラの持った不思議な存在を解き明かすレクチャーを開催します。レクチャーに参加された方からも、今後一年間活動を共にしていただけるボランティアスタッフを募集します。また、お茶を飲みながら、プロジェクトへのボランティア参加についての説明、質疑応答を行うアフターミーティングを開きます。

- ◇日時 6月20日(日) 午後2時~4時/アフターミーティング午後4時15分~5時
- ◇会場 山口情報芸術センター ホワイエ
- ◇参加料 無料(アフターミーティング時250円飲み物付き)
- ◇定員 200名(先着順)
- ◇申し込み ハガキ、FAX、Eメールのいずれかで、〒住所、氏名(ふりがな)、性別、生年月日、電話番号等の連絡先を明記の上、「佐藤時啓氏レクチャー」係 ☎ lecture@ycam.jp
- ※電話による申し込みは不可。

カメラさんぽ



仲間と楽しく健康づくり

青空のもと、市老人クラブによるゲートボール大会が開催されました。56歳から91歳までの方が参加し、健康増進と親睦を深め、お互いのプレーに声援を交わしました。(5月18日)



大人に負けるな！力合わせてヨイショ！

市内各地区で運動会が開催されました。名田島地区民体育大会では、小学生が大人たちと元気いっぱい綱引きを行い、家族や地区ぐるみの体力づくりと心のふれあいが図られました。(4月25日)



笑顔で応対、未来の看護師さん

「ほっとサロン中市まちのえき」で、中村女子高等学校高等看護専攻科の学生による血圧測定サービスがありました。生徒たちは、測定を終えたお客さんに、自らが作った健康に関する情報紙と造花を配り、健康づくりを呼びかけました。(5月16日)



くたにきじ 久谷雉さん、受賞の喜びを語る

第9回中原中也賞贈呈式が、ホテルニュータナカにおいて行われました。受賞者の久谷雉さんは「受賞作品『昼も夜も』はチュウヤと読めます。受賞作となり大変うれしい」と喜びを語りました。(4月29日)

くりを考えてみたいものです。

編集後記

表紙写真説明
「山口情報芸術センター探検ツアー」
ゴールデンウィーク期間中の5月1日～5日の間、山口情報芸術センターで、探検ツアーが行われ、250人の親子が参加しました。
今回のツアーでは、普段見ることのできない舞台の裏側や、映像装置、ビデオプロジェクター、照明など、専門家の説明を受けながら実際に機器に触れ、舞台演出の裏側をいろいろ体験しました。

▼梅雨時を迎え、庭先で紫陽花、花菖蒲など雨が似合う紫の花が咲き乱れ、蛍も優雅に飛び交う季節となりました。梅雨時の花々も蛍の光もその美しさが何となく心を癒してくれます。▼日没後の西の空ではニート彗星とリニア彗星が同時に肉眼で観測でき、6月上旬までは楽しめるそうです。2つの彗星が同時に観測できるのは実に400年ぶりだとか。▼県中部合併は二市四町での法定協議会の休止を受け、30万中核都市への道筋をつけつつ、新たな枠組みでの法定期限内を念頭に合併実現を見出すこととなります。▼